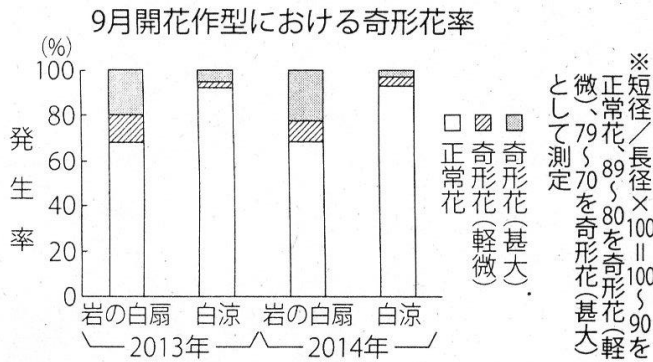


# 農業技術

## プリズム

輪菊は周年で栽培されており、6月から9月に出荷する夏



### 輪菊の新品種「白涼」

## 重イオンビームで奇形発生を抑える

秋輪菊と、10月から5月に出荷する秋輪菊に分けられます。そのうち夏秋輪菊の主要品種「岩の白扇」は、特に9月以降に出荷する作型では生育期間が高温となるため、花が扁平(へんぺ

の発生が少ない「白涼」を育成しました。

「白涼」は、9月出荷作型においても奇形花の発生が少なく、「岩の白扇」が約3割であるのに対して約1割未満に抑えられます。また、草丈の伸びが良く、花首は伸びにくいことから、草姿が良いという特徴があります。わき芽は「岩の白扇」と同じように発生が少なく、わき芽を取る作業の省力化が図られます。

一方で、節間が伸びやすいため軽くなりやすく、消灯が梅雨時期に当たるとお盆出荷作型では、葉先枯れ症状が出やすいという問題がありますが、消灯時にわい化剤を処理することにより軽減できることを明らかにしています。

い)となる奇形花の発生が増加し、商品化率の低下が問題となつていきます。そこで、国立研究開発法人理化学研究所で「岩の白扇」に重イオンビームを照射して突然変異を起こし、奇形花

「白涼」は2015年3月12日に品種登録出願を行い、8月24日に出願公表となりました。16年度は、長崎県央、島原地域において栽培される予定です。(農林技術開発センター農産園芸研究部門・久村麻子)